

2011年11月22日経営会議の概要

日時	：2011年11月22日（火）	午後4時5分～午後6時15分
【出席者】	委員・幹事：市長、鷺北副市長、加藤副市長、政策経営部長、総務部長、財務部長、政策経営部経営改革室長、政策経営部広報担当部長、政策経営部秘書課長、政策経営部企画政策課長、総務部総務課長、総務部法制課長、総務部職員課長、財務部財政課長、政策経営部広報課担当課長	
説明：議題1	政策経営部長、財務部長、経営改革室長、企画政策課長、財政課長、企画政策課担当課長、経営改革室担当課長	
議題2	いきいき健康部長、いきいき健康部地域保健担当部長、健康総務課長、健康総務課課長補佐	
議題3	地域福祉部長、福祉総務課長、福祉総務課課長補佐	
議題4	都市づくり部長、住宅課長、都市計画課長	

議題1：町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」及び「新5ヵ年計画」について
(政策経営部・財務部)

【付議の目的】

○「まちだ未来づくりプラン」及び「新5ヵ年計画」について承認を受ける。

【提案の概要】

町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」及び「新5ヵ年計画」は、2010年11月に決定された町田市中長期計画策定方針に基づき検討が行われてきた。

「まちだ未来づくりプラン」は町田市の市政の基本となる計画であり、「未来づくりプロジェクト」、「まちづくり基本目標」、「行政経営基本方針」で構成され、2021年度までの10年間を展望し、将来のあるべき町田市の姿の実現に向けた取り組みの指針となる。

また「新5ヵ年計画」は、「まちだ未来づくりプラン」で示す方向性や道筋を具体化するために策定され、2016年度までの5年間の実行計画である。

これらを策定することで、2012年度以降に実施する施策の基本的な方向性を示す。

【主な意見】

○意見なし。

【会議結果】

提案内容を承認する。

【付議の目的】

○パブリックコメントを実施するにあたり、第4次町田市保健医療計画（案）について承認を受ける。

【提案の概要】

これまでの基本理念である「みんなでつくる「健康のまち」まちだ」を継承し、第4次町田市保健医療計画を策定する。

本計画は、2011年度に保健所政令市へ移行し、「健康」の視点に立った総合的かつ一体的なまちづくりを推進するために、2012年度から5年間の保健衛生や健康増進、医療分野の課題とその方向性を明らかにする。あわせて、取り組むべき施策を具体的に明示し、積極的に施策を展開していくことを目的とする。

なお、本計画は市の行政計画としてだけでなく、市民、関係機関・団体が共通の目標に向かって努力する「社会計画」の要素を盛り込んだものとして策定する。また、計画の実効性を高めるために、町田市保健医療計画推進協議会による進捗確認を毎年度行い、その評価を公表できる計画とする。

【主な意見】

○指摘された文言の整理をすること。

【会議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

【付議の目的】

○町田市福祉のまちづくり推進計画の素案について承認を受ける。

【提案の概要】

少子高齢社会の進行に伴い、福祉のまちづくりにおいては、主に高齢者・障がい者を対象とするバリアフリーだけでなく、多様な人々を対象とするユニバーサルデザインの理念による取り組みが一層求められている。しかし、バリアフリーやユニバーサルデザインに関する意識向上や個別に実施されている取り組みへの評価や指標はなく、十分に普及啓発されているとはいえない。

そのため、それらを明らかにし、ユニバーサルデザインの理念の十分な普及啓発を図るとともに、実効性を高めるために市、関係機関、事業者、市民を含めた地域全体が連携し、総合的かつ計画的に福祉のまちづくりを推進していく仕組みづくりを行う必要がある。

そのために本計画を策定し、ユニバーサルデザインの理念に基づき、高齢者、障がい者をはじめとするすべての人がひとりの人間として尊重され、社会参加の機会を平等に保障される地域社会及び安全で安心して快適に住み続けることができる地域社会を実現する。

【主な意見】

○指摘された文言の整理をすること。

【会議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

議題4：団地再生基本方針の策定について

(都市づくり部)

【付議の目的】

○方針策定に関する基本的な考え方、組織体制及び工程について承認を受ける。

【提案の概要】

2011年3月に住宅マスタープランが改定され、団地再生に向けた取り組みが新たな重点施策として挙げられた。また、同時期に改定した都市計画マスタープランでも、重要な都市基盤として、社会的需要に対応しうるストックへの再生を方向づけている。そして、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」における「未来づくりプロジェクト」のひとつとして、団地再生が挙げられる見込みである。

それらを踏まえたうえで、団地再編・再生の基本方針を策定し、1960～70年代を中心に現・都市再生機構と東京都住宅供給公社が建設した大規模団地の老朽化に対応し、市街地としての持続性を確保していく。

【主な意見】

○団地再生に対する町田市、市民（居住者）、事業者（所有者）それぞれにとっての価値について、あらかじめ十分に検討・整理しておく必要がある。

【会議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。